

最寄駅からの距離、交通機関及び所要時間がわかる図面
吹田キャンパス



阪急電車千里線：北千里駅下車 東へ徒歩約20分
大阪モノレール：阪大病院前駅下車 徒歩約10分

最寄駅からの距離、交通機関及び所要時間がわかる図面
豊中キャンパス



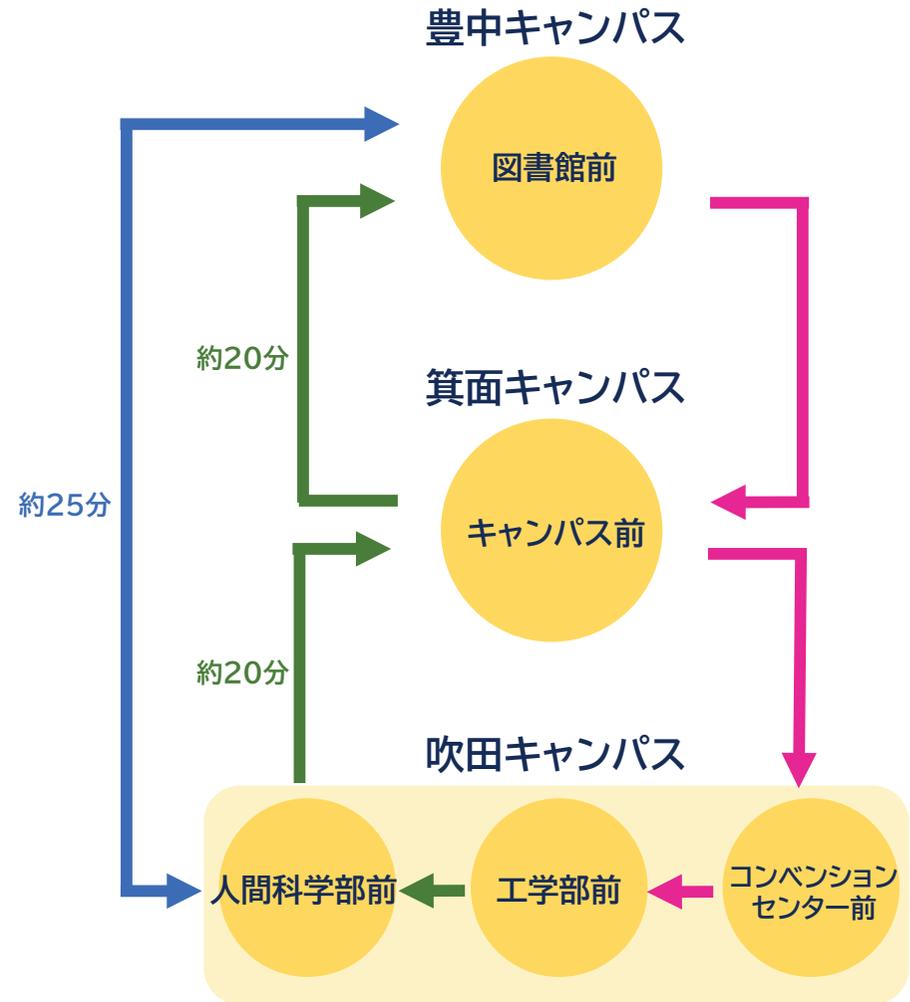
阪急電車宝塚線：石橋阪大前駅下車 東へ徒歩約15分
大阪モノレール：柴原阪大前駅下車 徒歩約15分

最寄駅からの距離、交通機関及び所要時間がわかる図面
箕面キャンパス

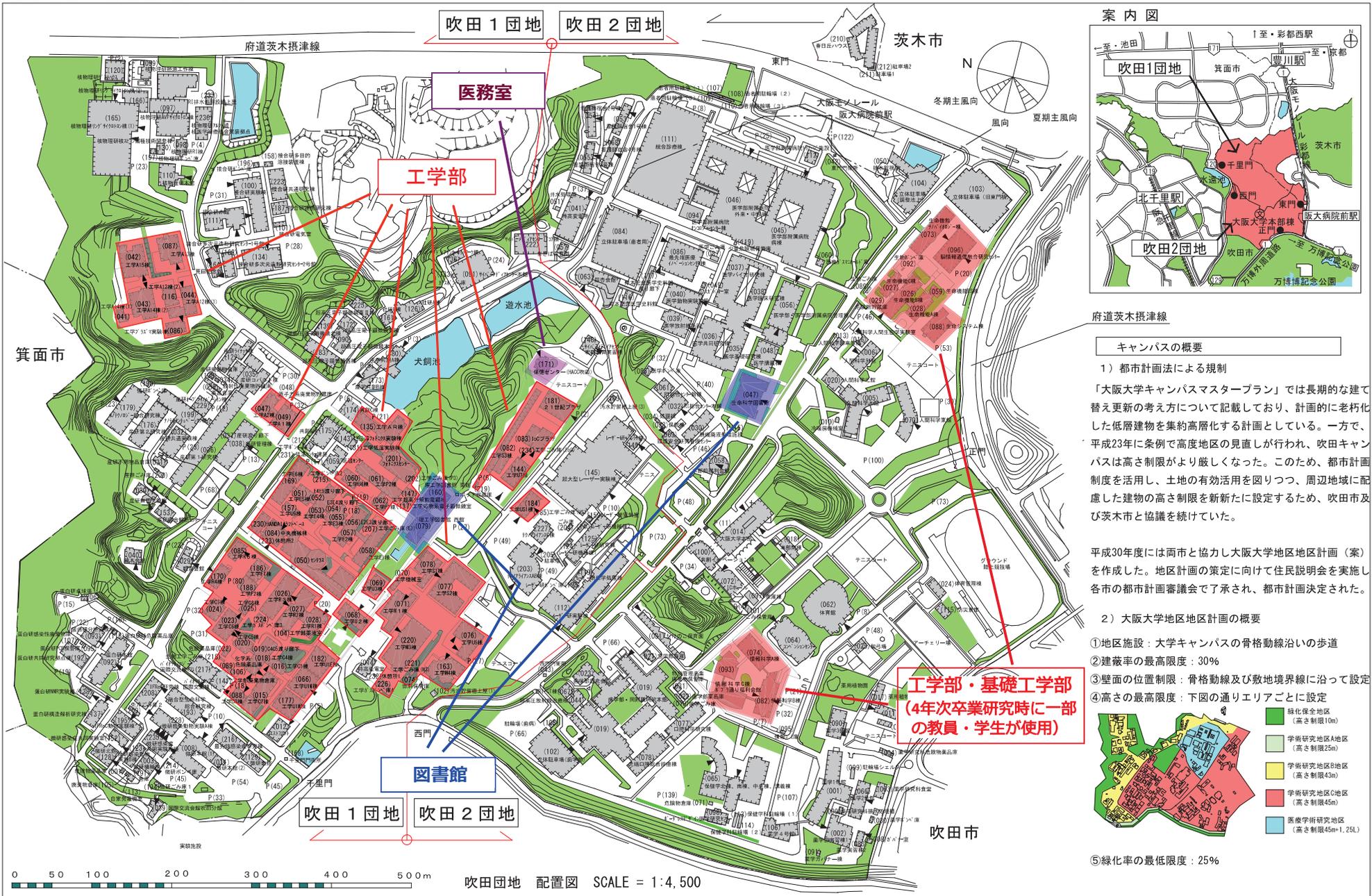
学内連絡バス



大阪モノレール・北大阪急行線:千里中央駅下車 北へ徒歩約25分
千里中央駅から阪急バス乗車 新船場北橋下車 徒歩約5分



- 豊中－箕面－吹田キャンパス行
- 吹田－箕面－豊中キャンパス行
- 豊中－吹田キャンパス間(直行便)



府道茨木摂津線

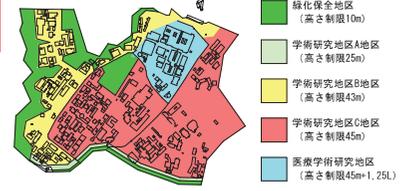
キャンパスの概要

1) 都市計画法による規制
 「大阪大学キャンパスマスタープラン」では長期的な建て替え更新の考え方について記載しており、計画的に老朽化した低層建物を集約高層化する計画としている。一方で、平成23年に条例で高度地区の見直しが行われ、吹田キャンパスは高さ制限がより厳しくなった。このため、都市計画制度を活用し、土地の有効活用を図りつつ、周辺地域に配慮した建物の高さ制限を新たに設定するため、吹田市及び茨木市と協議を続けていた。

平成30年度には両市と協力し大阪大学地区地区計画(案)を作成した。地区計画の策定に向けて住民説明会を実施し各市の都市計画審議会です承され、都市計画決定された。

2) 大阪大学地区地区計画の概要

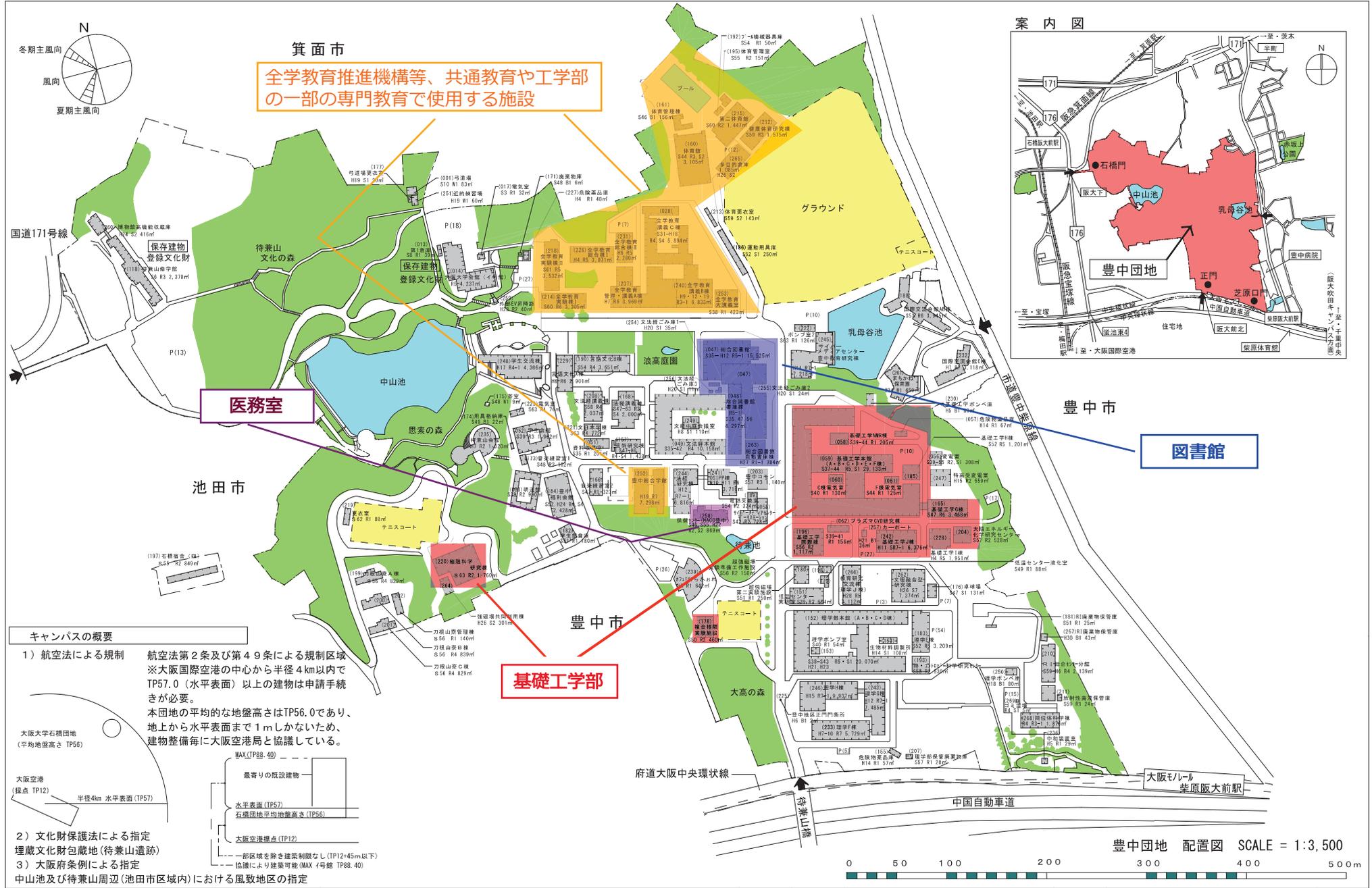
- ①地区施設: 大学キャンパスの骨格動線沿いの歩道
- ②建蔽率の最高限度: 30%
- ③壁面の位置制限: 骨格動線及び敷地境界線に沿って設定
- ④高さの最高限度: 下図の通りエリアごとに設定



⑤緑化率の最低限度: 25%

工学部・基礎工学部
 (4年次卒業研究時に一部の教員・学生が使用)

敷地面積	建築面積	建物延面積	建ぺい率	容積率	全学生数	学部等名	団地番号	団地名	所在地名	学校番号	学校名	作成年度
525.137㎡	109.982㎡	340.351㎡	20.9%	64.8%	5,887人	レーザー科学研究所・総合科学研究所・蛋白質研究所・核物理研究センター・共創機構・産業科学研究所 社会経済研究所・工学研究科・微生物病研究所・サイバーメディアセンター・附属図書館	002	吹田1	大阪府吹田市山田丘2-1, その他	0292	大阪大学	R5年度
471.974㎡	120.286㎡	460.948㎡	25.5%	97.7%	4,630人	本部事務機構・人間科学研究科・歯学部歯学研究科・歯学部附属病院・生命機能研究科・薬学研究科 医学系研究科・医学部保健学科・医学部附属病院・情報科学研究科・サイバーメディアセンター・附属図書館	003	吹田2	大阪府吹田市山田丘1-1	0292	大阪大学	R5年度



キャンパスの概要

1) 航空法による規制
航空法第2条及び第49条による規制区域
※大阪国際空港の中心から半径4km以内でTP57.0(水平表面)以上の建物は申請手続きが必要。
本団地の平均的な地盤高さはTP56.0であり、地上から水平表面まで1mしかないので、建物整備毎に大阪空港局と協議している。

2) 文化財保護法による指定
埋蔵文化財包蔵地(待兼山遺跡)
3) 大阪府条例による指定
中山池及び待兼山周辺(池田市区域内)における風致地区の指定

大阪大学石橋団地(平均地盤高さ TP56)
大阪空港(採点 TP12) 半径4km 水平表面(TP57)

MAX(TP88.40)
最寄りの概設建物
水平表面(TP57)
石橋団地平均地盤高さ(TP56)
大阪空港採点(TP12)
一部区域を除き建築制限なし(TP12-45m以下)
協議により建築可能(MAXイ号館 TP88.40)

敷地面積	建築面積	延べ面積	建べい率	容積率	全学生数	学 部 等 名	団地番号	団 地 名	所 在 地	学 校 番 号	学 校 名	作成年度
434,618	67,619	256,274	15.6	59.0	7,621	文学部人文科学研究科・法学部法科学研究科・経済学部経済学研究科・理学部理学研究科・基礎工学部基礎工学研究科 外国語学部人文学研究科・国際公共政策研究科・高等司法研究科・全学教育推進機構・サイバーメディアセンター 総合学術博物館・キャンパスライフ健康支援相談センター・附属図書館・本部事務機構	001	豊中	大阪府豊中市待兼山町1-1	0292	大阪大学	R5年度